

日本航海学会

第133回講演会の御案内

2015年度（平成27年度）秋季

担当：国立大学法人 東京海洋大学 海洋工学部

開催日：平成27年11月6日（金）、7日（土）

会場：東京海洋大学 越中島会館：2階 セミナー室

〒135-8533 東京都江東区越中島 2-1-6

TEL：03-5245-7300 FAX：03-5245-7300

交通アクセス：<http://www.e.kaiyodai.ac.jp/access.html>

JR 京葉線・武蔵野線「越中島駅」（各駅停車のみ）2番出口 徒歩約2分

東京メトロ 東西線・都営地下鉄 大江戸線 「門前仲町駅」4番出口 徒歩約10分

東京メトロ 有楽町線・都営地下鉄 大江戸線「月島駅」2番出口 徒歩約10分

会場紹介：<http://www.e.kaiyodai.ac.jp/campus.html>

情報交換会：11月6日（金） マリンカフェ（越中島会館1階）



公益社団法人 日本航海学会

※講演会は、会員以外の方も参加可能です。

東京海洋大学海洋工学部周辺地図



東京海洋大学海洋工学部ホームページ <http://www.e.kaiyodai.ac.jp/access.html>

11月6日(金)

- | | | |
|-------------|--------|-------------------|
| 12:15-13:45 | 代議員連絡会 | 越中島会館 2階 |
| 18:00-20:00 | 情報交換会 | マリンカフェ (越中島会館 1階) |
- 参加費 : 5,000 円 (学生会員は 2,500 円)

11月7日(土)

- | | |
|-------------|------------------------|
| 12:00-12:55 | 運営委員会 (越中島会館 2階、セミナー室) |
| 16:00-17:30 | 研究委員会 (越中島会館 2階、セミナー室) |

※運営委員会、研究委員会の会場の詳細はホームページをご参照下さい。

※講演予稿集は、学会ホームページに掲載しています。

※平成 26 年度秋季講演会より参加費を徴収させていただきます。

参加費 会員 1,000 円、非会員 2,000 円、学生非会員 500 円、賛助会員、学生会員は無料

第133回日本航海学会秋季 講演会 プログラム

11月6日(金) プログラム(1)

会場	第1会場：セミナー室(3)	第2会場：セミナー室(4)	第3会場：多目的教室	第4会場：コモンスペース(4)
セッション名	海洋工学研究会セッション (10:00-12:00)	GPS/GNSS研究会セッション (10:00-12:00)	操船シミュレータ研究会セッション (10:00-12:00)	シーマンシップ研究会セッション (10:00-12:00)
10:00-12:00	<p>「海洋工学を担う若手研究者の多方面への取り組み」</p> <p>船舶を利用した災害時の重傷者搬送法に関する基礎的研究 ○増田光弘(東京海洋大学)、南清和(東京海洋大学)</p> <p>船内船舶の船内電源による陸上への給電システムの開発ーシステムの提案ー ○河野健(広島商船高等)、○梅田和真(広島商船高等)、南清和(東京海洋大学)、増田光弘(東京海洋大学)、大内一弘(広島商船高等)、水井真治(広島商船高等)</p> <p>OWC波力発電パイのエネルギー吸収性能に関する基礎的研究(その3) ○宮原裕太郎(東京海洋大学大学院)、増田光弘(東京海洋大学) 次本博(東京海洋大学大学院)、南清和(東京海洋大学)</p> <p>船舶を利用した海上における作物生産の研究 ○和田光明(大島商船高等)</p> <p>海洋観測を利用した獲物の回復活動について ○津田和之(富山県立大学)</p> <p>ボジティブな思い出からみた船舶実習の教育効果 ○行平真也(福岡工業大学)、藤原真子(神戸大学) 園枝佳明(東京海洋大学)、藤本昂志(神戸大学)</p>	<p>【基礎講演】</p> <p>(1) 内閣府 宇宙戦略室 田村 栄一 企画官 「準天頂衛星システムについて」</p> <p>【一般講演】</p> <p>(2) 曾我 広志 日本電気 「準天頂衛星システムによる測位サービスの最新開発状況」(仮題)</p> <p>(3) 吉富 進 日本宇宙フォーラム (INESコンソーシアム) 「INESの現状と最新動向紹介」(仮題)</p>	<p>『海事シミュレータに関する国際会議より』</p> <p>海事シミュレータに関する国際会議 (MARSIM2015 (International Conference on Ship Maneuverability and Maritime Simulation)、15th AOMSR (Asian Conference on Maritime Safety and System) をはじめとする関連する国際会議) 等への講演・出席を通じて、国際的に関心を集めている事項について報告します。講演は次の通りですが、関連する情報も含めての内容を予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「The Development of the Ship-handling Support System Based on Human Characteristics」 石橋真 東京海洋大学 「The Range of Lookout for Assessing Collision Situations」 内野明子 東京海洋大学 「Model Course on Training for Instructors Using Ship-handling Simulators」 小林弘明 東京海洋大学 	<p>10:00-10:10 吉莊会長挨拶&講演者紹介 10:10-10:55 講演1 (40分講演、5分質疑) 題目：シーマンシップ論から学んだこと 講師：南宮伊作 氏 (東京清水先区水先入会) 10:55-11:40 講演2 (40分講演、5分質疑) 題目：「シーマンシップ」ということばと学習環境デザイン 講師：守下奈美子 氏 (筑波大学) 11:40-11:50 討論 11:50-12:00 次回開催地のアナウンス</p>
12:00-14:00	<p>昼休み(12:00-14:00) 代議員連絡会(12:15-13:45)</p>			
	第1会場：セミナー室(3)	第2会場：セミナー室(4)	第3会場：多目的教室	第4会場：コモンスペース(4)
	航法システム研究会セッション (14:00-16:00)	航空宇宙工学研究会セッション (14:00-16:00)	海上交通法規研究会セッション (14:00-16:00)	物流研究会セッション (14:00-16:00)
14:00-16:00	<p>特集「船舶運航支援」 14:00~14:05 「研究会長挨拶」 河合 雅司(富山高専専門学校) 14:05~14:30 「運航支援システム」 中野 和島(JRCS(株)) 14:30~14:55 「内航海運における船舶管理高度化の事例」 小野 昌也(宇都宮産産運(株)) 14:55~15:20 「パフォーマンスマネジメントシステム「SIMS」の開発と活用」 角田 領(株)MTI 15:20~15:45 「先端ナビゲートシステムと船舶情報の活用」 庄司 るり(東京海洋大学) 15:45~16:00 総合討論</p> <p>最新の情報は研究会webページをご覧ください。 研究会webページに、講演手帳を掲載する予定です。 http://navsystem_j-navigation.org/</p>	<p>14:00~14:40 「広域マルチテレレシジョンの概要について」 宮崎 裕己(電子航法研究所)</p> <p>14:40~15:20 「ソフトウェアラジオによる二次監視レーダー質問符号の分析技術について」 岩田 宗之(IRT)</p> <p>15:20~16:00 「航空宇宙研究会運営委員会」</p>	<p>テーマ：「明石海峡における航法の適用ー海上衝突予防法と海上交通安全法の適用関係ー」</p> <p>内容：明石海峡航路を航行する貨物船が明石海峡航路北側回廊付近で船撞りに遭遇し、明石海峡航路の北側を航行する巡視艇と衝突した衝突事件に関連した最高裁判決を素材に、明石海峡における航法の適用についてパネルディスカッション形式で討議する。</p> <p>1400~1500：基礎講演：南健悟先生=小樽商科大学 1500~1600：パネルディスカッション</p> <p>※ 時間については、都合により変更する場合もございます。</p> <p>パネラー：松本宏之先生(海上保安大学校教授)、造見真先生(東京海洋大学教授)、岩瀬良先生(海技大学校教授) 司会：藤本昌志先生(神戸大学海事科学部准教授)</p>	<p>14:00-14:05 研究会会長挨拶</p> <p>特別講演 14:05-15:05 鹿児島の交通支援のための シームレス小型船システムの開発 荒谷太郎(海上技術安全研究所)</p> <p>一般講演 15:05-15:45 コンテナ管理問題の回顧と展望 新谷浩一(東海大学)</p> <p>15:45-16:00 研究会総会</p>
16:00-18:00	休憩			
会場	第1会場：セミナー室(3)	第2会場：セミナー室(4)	第3会場：多目的教室	
	第1セッション 座長：福田 巖(東海大学)	第4セッション 座長：増田 光弘(東京海洋大学)	第7セッション 座長：松本 浩文(水産大学校)	
16:10-16:30	<p>講演番号：K133-01</p> <p>エネルギー代謝量からみた和船機遣きの推進効率の検討 学生会員○川崎 規介(長崎大学) 正会員 清水 健一(長崎大学) 正会員 八木 光晴(長崎大学) 正会員 高山 久明(長崎大学)</p>	<p>講演番号：K133-09</p> <p>東日本大震災で被災した津波2 隻の大型石炭船に突襲した津波および船体に対する津波波力に関する考察 正会員 ○藤原 繁樹(東海大学) 非会員 阿部 智男(常葉大学) 正会員 久保 理香(神戸大学名誉教授) 正会員 津金 正典</p>	<p>講演番号：K133-17</p> <p>航海環境下でのビジュアルレベルー距離による輝度変化の影響ー 学生会員○石丸 義樹(神戸大学) 正会員 河本 健一郎(川崎製機福祉大学) 学生会員 福田 凌(神戸大学) 正会員 吉庄 雅生(神戸大学)</p>	
16:30-16:50	<p>講演番号：K133-02</p> <p>ワイリアムソンタンクにおける操縦性能の影響Ⅱ。 正会員○世良 亘(神戸大学) 非会員 貴志 大智(神戸大学)</p>	<p>講演番号：K133-10</p> <p>島嶼地域における船舶を活用した大規模災害時の対応について 学生会員○大野望太郎(広島商船高等専門学校) 正会員 水井 真治(広島商船高等専門学校) 正会員 廣己 公明(広島商船高等専門学校) 正会員 小林 豪(広島商船高等専門学校)</p>	<p>講演番号：K133-18</p> <p>小型船舶および船舶装置による動揺に対する生体の姿勢姿勢動揺と運動負荷 正会員 ○坂牧 孝雄(鳥羽商船高等) 学生会員 土井根 礼音(東京電機大学) 正会員 瀬田 広明(鳥羽商船高等) 非会員 小川 伸夫(鳥羽商船高等)</p>	
16:50-17:10	<p>講演番号：K133-03</p> <p>通常航海時の操縦運動データを用いた操縦性能の推定法 正会員○寺田 大介(水研セ・水工研) 正会員 松田 真司(海上保安大学校)</p>	<p>講演番号：K133-11</p> <p>沿岸におけるうねり性波浪による水位変動の検証 正会員○河合 雅司(富山高専専門学校) 非会員 後藤 佑介(新潟県港空港調査事務所) 非会員 川口 清司(富山大学)</p>	<p>講演番号：K133-19</p> <p>客船以外での一般乗船者向けの案内放送に関する研究 学生会員○下田 夏海(鳥羽商船高等専攻科) 正会員 吉田 尚穂子(鳥羽商船高等) 正会員 小島 智恵(鳥羽商船高等) 正会員 鈴木 治(鳥羽商船高等)</p>	
17:10-17:30			<p>講演番号：K133-22</p> <p>水産高校生を対象とした進路選択に対する自己効力尺度についての検討 正会員○行平 真也(福岡工業大学) 非会員 浦上 高剛(南山大学) 正会員 高山 久明(長崎大学)</p>	
17:30-18:00	休憩			
18:00-20:00	情報交換会 (マリンカフェ)			

第133回日本航海学会秋季 講演会 プログラム

G:一般講演、F:フレッシュマン講演

11月7日(土) プログラム(2)

会場	第1会場：セミナー室(3)	第2会場：セミナー室(4)	第3会場：多目的教室
	第2セッション 座長：田丸 人意(東京海洋大学)	第5セッション 座長：内野 明子(東京海洋大学)	第8セッション 座長：南 清和(東京海洋大学)
	講演番号：K133-04	講演番号：K133-12	講演番号：K133-20
09:30-09:50	VHF無線電話通信の内容から見たVTSの効果検証 正会員 藤田 広明(鳥羽商船高等専門学校) 学生会員 大田 大(鳥羽商船高等専門学校) 非会員 Cecil YURTUREN (イスタンブール工科大学) 非会員 Y.Volkan ATDOGDU (イスタンブール工科大学)	モデル予測制御による船舶制御に関する基礎研究 正会員 松田 真司(海上保安大学校)	大陸横断石油開発事例の分析に基づく紛争原因の考察 正会員 大内河内 貴幸(東京海洋大学) 正会員 逸見 真(東京海洋大学) 正会員 黒川 久幸(東京海洋大学) 正会員 竹本 孝弘(東京海洋大学)
	講演番号：K133-05	講演番号：K133-13	講演番号：K133-21
09:50-10:10	DWTを用いた海上交通分析の基礎研究 正会員 稲田 順(東京海洋大学) 正会員 庄司 るり(東京海洋大学)	船舶による高精度単独測位の精度評価と応用提案 学生会員 青木 秋子(東京海洋大学) 正会員 久保 信明(東京海洋大学) 正会員 森田 一将(航海訓練所)	男性中心社会変革のための立法とその問題点 女性・女性船員の就労を働き手掛かりとして 正会員 逸見 真(東京海洋大学)
	講演番号：K133-06	講演番号：K133-14	講演番号：K133-23
10:10-10:30	AIS記録データに基づく船舶追跡時の相対距離について 正会員 三宅 康彦(海上技術安全研究所) 正会員 福戸 洋司(海上技術安全研究所) 正会員 長谷川 和彦(大阪大学)	衛星搭載航空成層圏レーダを用いた海上交通モニタリング 船域観測技術衛星だいち2号の観測性能 正会員 岡村 真規(株式会社パスコ) 非会員 三五大輔(株式会社パスコ)	エラー防止のための教育・訓練 正会員 岡村 佳明(東京海洋大学) 正会員 中村 直哉(航海訓練所) 正会員 鹿島 英之(東京海洋大学) 正会員 村井 康二(神戸大学)
10:30-10:45	休憩		
	第3セッション 座長：瀬田 広明(鳥羽商船高等専門学校)	第6セッション 座長：丹羽 康之(海上技術安全研究所)	
	講演番号：K133-07	講演番号：K133-15	
10:45-11:05	ECDIS における情報レイヤーのユーザビリティに関する研究 正会員 中川 浩一郎(航海訓練所) 学生会員 大井 一進(海技大校) 正会員 石倉 歩(海技大校) 正会員 村田 信(航海訓練所)	魚群探知機エコーとGPS測位によるメタンブルーム位置特定 正会員 平塚 元(富山高等専門学校船舶学科) 非会員 竹内 章(富山大学理工学工学部) 非会員 島 俊郎(富山県立大学工学部環境工学科) 正会員 八木光晴(長崎大学水産学部)	
	講演番号：K133-08	講演番号：K133-16	
11:05-11:25	東京湾海上交通ネットワークを利用した船舶動静の予測に関する基礎研究 学生会員 白井 友子(東京海洋大学大学院) 正会員 久保 信明(東京海洋大学) 非会員 稲田 健二(日本海難防止協会) 正会員 田丸 人意(東京海洋大学)	漂流ブイを用いた日本周辺海域における波高と表層流速の関係 正会員 岡崎 博一(水産大学校)	
11:25-13:00	昼休み 運営委員会		
会場	第1会場：セミナー室(3)	第2会場：セミナー室(4)	第3会場：
セッション名	海上交通工学研究会セッション (13:00-16:00)	最低主機出力ガイドライン検討プロジェクト セッション (13:00-16:00)	
13:00-16:00	「北極海航路の利用と極域等における観測技術の実現」 (日本海洋学会 ブレークスルー研究会共催) 13:00~13:05 研究会長挨拶 山田多洋人(海上保安大学校) 13:05~13:45 「ロジスティクスから見た北極海航路の魅力について」 黒川 久幸(東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科) 13:45~14:25 「船長が見た極域(北極海)航路の今と未来」 赤崎 正治(海洋研究開発機構所属観測船「みらい」元船長) 14:25~15:05 「北極海の海水分布変動をもたらす要因 ～北極海航路利用に向けて～」 島田 浩二(東京海洋大学海洋科学部) 15:05~15:45 「北極海における観測支援」 委員長 松(株式会社グローバルオーシャンディベロップメント) 佐藤 薫一郎(株式会社マリン・ワーク・ジャパン)		
16:00-17:30	研究委員会		

講演者・参加者へのお知らせとお願い

講演者へのお知らせ：講演会の運営について

- 講演時間は、発表15分、質疑応答5分です。
- 発表開始の後、12分で1鈴を、15分では2鈴を鳴らして発表時間の終了をお知らせします。15分を経過してもまだ講演が続いている場合には、16分で3鈴を鳴らし、その時点で発表を打ち切ってください。また20分の講演終了時間は長鈴にてお知らせいたします。

参加者へお願い：質疑応答について

- 質疑応答におけるご質問の際には、ご所属とお名前をお知らせ下さい。
- 時間の許す限り、活発なご討論をお願いいたします。

以上